

店品 技人

ファイル46

取材日 H23.6.9



三又建設(株)

横手営業所：横手市大沢字西野2
TEL.32-4706 FAX 32-4719
【創業】昭和23年
【従業員数】22名
【営業時間】8:00~17:00
【定休日】第2・第4土曜・日曜日
【取扱品】森林整備・製材・木材販売
建築、土木



プロフィール

下村 正樹
たむら まさき
職：代表取締役
昭和42年1月19日生まれ
出身地：横手市山内三又
趣味：ボランティア、スーパー巡り

森林の整備から製材、建築までを手掛けている三又建設(株)さん。三ツ又温泉も運営されていることで、薪ボイラーも見せていただきました。清々しい木の香り漂う事務所にてお話を伺いしました。

お邪魔します。
下村です。よろしくお願
いします。
下村さんって、めずらし
い名字ですよね？
そうですね。山内の三又地
域が発祥の名字です。カタカ
ナの「タ」を入れて「しもむら
さん」と間違えられないように
読みがなを入れたのではと言
われています。

では名字だけで出身地が分
かってしまうんですね！
そう。だから悪いことはで
きませんよ(笑)
なるほど(笑)
さっそく質問に入ります
が、創業はいつ頃ですか？

創業は昭和23年です。その
頃は、山内の三又地区に電気
が通っておらず、電気を引く
ためには工場がなければいけ
ないということで、私の祖父
が製材所を起業しました。

そつだったんですか。地元
では宿舍生活の毎日が魚料理で、海の
魚が苦手だった私は鍋のドンコを見る
たびにブルーでした。
もつたないーさぞ美味しかったん
でしょうね。
今はだいぶ食べられるようになりま
した。刺身や寿司はだいたい食べられ
ます。
ところで、大震災の影響は何かあり
ますか。
そつですね。三ツ又温泉はいろんな
面で震災の影響を受けました。宮城・
岩手のお客様が多いのが特徴でした
が、すべてキャンセルになりました。
源泉も地震直後に止まってしまったの
ですが、数日後からは以前の倍の湯量
に増えました。

それはすごいですね！地震によって
湯量が枯渇したとかは良くききます
が、増えることもあるんですねー？
なるほど(笑)そして、一昨年から実
行委員長になられたわけですね。
はい。今年で第8回を数えます。昨
年は大雨で川が氾濫したりして、規模
を縮小して実施するしかなかったです
(涙)。
そつでしたね。順延が決まったとた
ん、晴れましたよ(悲)。

昔の木造校舎はとも頑丈
なつくりをしていて、横手南
小学校の旧体育館の「合掌」は
再利用され当社工場の骨組み
として現役です。
それは残念ですね。趣ある
木造校舎、見てみたかったで
す。
きつと思いがたくさんつ
まっているでしょうからね
...
祖父は昭和35年に三ツ又温
泉を開業し、父の代になって
からは土木工事業も始めまし
た。いとこが温泉を引き継い
でいましたが、施設の老朽化
のため廃業したいとの相談を
受けた父が地元の灯を消した
くないという思いから再開さ
す。

そつなんです。冷泉が入って温度
が下がったために重油代が掛かり増し
になってしまいました。そこで、薪ボ
イラーを導入しました。製材の最終過
程に残るクズ材を利用しているのと、
燃料費も浮いて一石二鳥です。
ナイスアイデアですね！
話は変わりますが本業以外では、「よ
ここの全国線香花火大会の実行委員
長もされていますよね。
はい。一昨年から実行委員長をやら
せていただいています。
どういう経緯でこの事業に携わった
んですか？
もともと、建設業者の後継者組織「建
青会」という団体に所属していて、「横
手川水辺のふれあいフェスタ」の蛇の
崎河川敷でのイベントのお手伝いをし
ていた関係で、その時一緒にボラン
ティアをしていた先輩に誘われ、ある
会議に出席したところ、実行委員に
なっていたという感じです。

今年、昔にタイムスリップできる
ような、懐かしい雰囲気イベントに
したいです。子供だけじゃなく、大人
も子供にもとって楽しめる会場づくりに
目指します。映画の三丁目の夕日
みたいなイメージで...
楽しみですよー今年こそ晴れるとい
いですね。
はい。高校生をはじめ多くのボラン
ティアにも毎年頑張ってもらって、本
当に感謝しています。
参加してくれた高校生が、卒業後も
線香花火のボランティアスタッフとし
て一緒に盛り上げてくれるような、そ
んなイベントにしたいです。是非多く
の方にお越しいただきたいと思いま
す。

建設業に温泉業。様々な事業を通じ
てこの地域を良くしようという思いが
感じられるインタビューでした。今後
ますますのご活躍をお祈りします。
下村社長が実行委員長を務める
「第8回よここの全国線香花火大会」
は、7月23日(土)開催予定です。
(詳細は8ページ)



その時にもう建築や土木の
ほうで家業を継がれていたん
ですか。
大学卒業後に盛岡市の建設
会社に就職し、平成5年に戻っ
て来ました。土木畑ですので、
建築や木材についてはお客様
に教えていただくことの方が
多いですし、まして温泉事業
は予想外のことでした。

はい。うちで扱っている木材のほと
んどが県産の杉材です。以前は外国
産材も取り扱っていましたが、やはり
地元の森林を守る観点から今は地元
のものを多く使っています。手入れを
してあげないと良い木材ができないん
ですよ。
そつなんです。この事務所内も木
の香りがとても心地良いですね。
私の代になってから森林整備の仕事
も始めましたので、森を育て木を伐採
し家を建てるまですべて自社ででき
るようになったんです。
それはすごいですね。
でも、横手の若い大工さんが少なく
なっていて、危機感があります。この
ままでは、木の特性を熟知した大工さ
んの厳しい目と技が受け継がれないの
ではと心配しています。
岩手で勤められていたとのこと
が、何かエピソードはありますか。
約4年いました。盛岡では昼も夜も
勉強させていただき(笑)、楽しかった
です。今でも自分関わった橋やイン
ターチェンジを通ると、「OK」と言わ
れた環境の中、地図に残る仕事をした
頃がよみがえってきます。三陸の現場



▲三ツ又温泉で導入した薪ボイラー

役員と委員のつながりで地域に活力を！